

第 5 章

計画の推進に向けて

- 1 重点事業
- 2 目標指標
- 3 推進体制



1 重点事業

子どもとはぐくむ「楽しい食育」、みんなで参加「交流食育」、3食たべて「健康食育」の3つの基本目標を達成するため、重点事業を定めます。今後5年間に基本目標に沿った3つのプロジェクト及び全市的な食育啓発に取り組みます。

1 『わが家で取り組む楽しい食育プロジェクト』

子どもは毎日の生活から食の大切さを身につけるため、身近な家庭が食育の中心になるよう、関係機関と連携した取組を推進します。

取組	<p>家庭における食育の取組支援</p> <p>「親子で作る料理レシピ」や「家庭でできる簡単な栽培や収穫体験」「子どもができる食事のお手伝い」など、「親子でできる食育体験の手引き」を作成し紹介します。子育て支援センターや交流館等において親子食育講座を開催し、調理体験等を通じて家庭の食育を支援します。</p> <p>園、小中学校における食育計画の推進</p> <p>園は食育計画、小中学校は食育（全体）計画・食育プランに基づいて各年齢に適応した食育を推進します。</p> <p>園、小中学校における家庭への食育啓発の充実</p> <ul style="list-style-type: none">・授業参観や学校行事による啓発・園行事・学校での収穫、調理体験・学校から家庭への啓発活動（小中学校）
----	--

2 『地元を食べようプロジェクト』

地元の食材や食文化の良いところを発見し、地産地食や伝統食・郷土食を伝承する取組を進めます。またこれらの取組により地域間交流や世代間交流を推進します。

取組	<p>豊田の伝統食、郷土食を発掘し、様々な機会に作って食べて交流し、子どもたちにも伝承する取組の支援</p> <ul style="list-style-type: none">・伝統食、郷土食のレシピ集作成・伝統食、郷土食の調理講習会開催 <p>ファーマーズマーケット定期市の開催支援</p> <p>農家が地域で取れた農産物を持ち寄って販売するファーマーズマーケット定期市の開催を支援します。</p>
----	--

3 『豊田市版の健康食育プロジェクト』

朝食を食べない、食べる習慣がないという若い年代を中心に朝食をきちんと食べることの重要性を啓発します。またバランスの良い食事を理解するため豊田市版食事バランスガイドが活用される取組を推進します。

取組

高校生以降の若い年代を対象とした栄養教育の実施

若い年代を対象に、朝食の大切さやバランスのよい食事を理解し、自分の食生活を振り返る機会として、また自分の食事を自分で調理できるよう出前講座や調理実習を実施します。

あなたの豊田市版食事バランスガイドの作成配布

豊田市版食事バランスガイドのダイジェスト版（1800、2200、2600kcal）を作成し、自分にあった食事量を具体的に知って実践できるよう啓発します。

企業への食育の取組の支援

企業の食堂で豊田市版食事バランスガイドの活用、喫食者への栄養教育など食育の取組が実施されるよう支援します。

かむことの重要性の啓発

かむことの重要性を理解し、よくかんで食べるよう意識付ける「かみかみ運動」を推進します。



4 『全市的な食育啓発』

食育キャラクターや食育ホームページを活用し全市的に食育を推進します。また、食育月間や食育の日を食育に取り組む機会となるよう啓発し活動の活性化を図ります。

取組

食育キャラクター「たべまる」を活用した啓発

- ・たべまるの歌、たべまるキャラクター弁当、お菓子レシピ等を募集し食育に関心を持つ機会とします。
- ・たべまる歳時記として季節に応じ、行事や旬の食材をPRします。
- ・たべまる着ぐるみによる園訪問や各種イベントへの参加等によりキャラクターの認知度を高める取組を行います。

食育グッズ（食育カルタ、教材の貸し出し、親子で使える調理グッズ・写真パネルなど）の作成・活用

食育ホームページの内容の充実

食育応援し隊・人材バンクの様々な食育の取組や豊田の食材の紹介、料理レシピの掲載等楽しく活用できる内容を充実をはかります。

食育月間や食育の日の取組の充実

- ・6月は食育月間、毎月19日は食育の日を啓発します。
- ・毎月19日は食育の日として、おうちでごはんの日（19日は仕事を早く終えて帰るようにする。）や子どもが家族のためにごはん作りに挑戦など、関係機関と連携して家庭での食育に着目される取組を推進します。

食育活動の地区支援

食育モデル地区の活動を参考に、新たに食育の取組を希望するコミュニティ会議、自治区等を支援し食育活動の活性化を図ります。

食育応援し隊・人材バンクの活用

食育応援し隊の活動を食育ホームページ等で紹介し、食育活動の活性化を図るとともに、食育人材バンクを活用して新たな食育活動の実践が広がるよう支援します。

2 目標指標

目標指標は、この計画の3つの基本目標の達成状況を客観的に把握・評価するために設定するもので、計画や取組の見直しに反映させ、活用していきます。

下表の目標指標一覧はこの計画により達成をめざす目標指標です。これらの指標は市民を対象に行うアンケート結果から設定しています。したがって、評価を行う年度においてもこの計画の策定時に行ったものと同様のアンケート調査を行う必要があります。

目標指標一覧

目標	目標指標				
	指標名	現状値 (H22)		目標値	
目標 1 子どもと はぐくむ 「楽しい食育」	(1) 家族の誰かと一緒に食事をする子の増加 (1)	高校生	91.1%	98.0%	
		小中学生	94.8%		
	(2) 毎日の食事が楽しいと思う人の増加 (2)	市 民	77.5%	80.0%	
		高校生	65.2%		
	給食の時間が楽しいと思う子の増加	小中学生	76.7%	80.0%	
	(3) 学校以外で農作業体験をする子の増加	小中学生	74.9%	80.0%	
目標 2 みんなで参加 「交流食育」	(1) 地産地食の内容を知っている人の増加 (3)	市 民	64.5%	70.0%	
		高校生	59.2%		
		給食に地域の食材が使われていることを知っている子の増加	小中学生	50.2%	65.0%
	(2) 地域の伝統食や郷土食を知っている人の増加 (4)	市 民	18.3%	90.0%	
	高校生	67.8%			
	小中学生	82.7%			
	(3) 食材の廃棄や食べ残しを少なくするようにしている人の増加	市 民	82.3%	90.0%	
目標 3 3食たべて 「健康食育」	(1) 毎日朝食を食べる人の増加	市 民	84.3%	90.0%	
		高校生	75.6%		
		朝食を食べた子の増加 (ある一日)	小中学生	97.6%	98.0%
	(2) よくかんで食べる人の増加	市 民	39.6%	50.0%	
	高校生	38.8%			
	(3) 食の安全について関心のある人の増加 (5)	市 民	87.3%	90.0%	
食育の認知	(1) 豊田市食育キャラクター「たべまる」を知っている人の増加	市 民	11.7%	90.0%	
		高校生	11.4%		
		小中学生	84.4%		
	(2) 食育について知っている人の増加 (6)	市 民	54.0%	70.0%	
		高校生	48.0%		
		小中学生	62.2%		
(3) 豊田市版食事バランスガイドを知っている人の増加 (7)	市 民	14.8%	50.0%		
	高校生	9.6%			

- 1 朝食又は夕食を「1人で食べる」という子の減少をめざします。
- 2 市民、高校生の場合は「とても楽しい」「楽しいときもある」人の割合の増加をめざします。
- 3 「よく内容を知っている」「だいたい内容を知っている」人の割合の増加をめざします。
- 4 市民は、地域の伝統食や郷土食を「知っている」人の割合、高校生、小中学生は、地域にある昔ながらの食べ物（五平もち、おこしもの）などを知っている子の増加をめざします。
- 5 食の安全に「関心がある」「どちらかといえば関心がある」人の増加をめざします。
- 6 市民、高校生は、食育という言葉を知っている「よく内容を知っている」「だいたい内容を知っている」人の割合、小中学生は、「聞いたことがある」子の割合の増加をめざします。
- 7 「よく知っている」「だいたい内容を知っている」人の割合の増加をめざします。

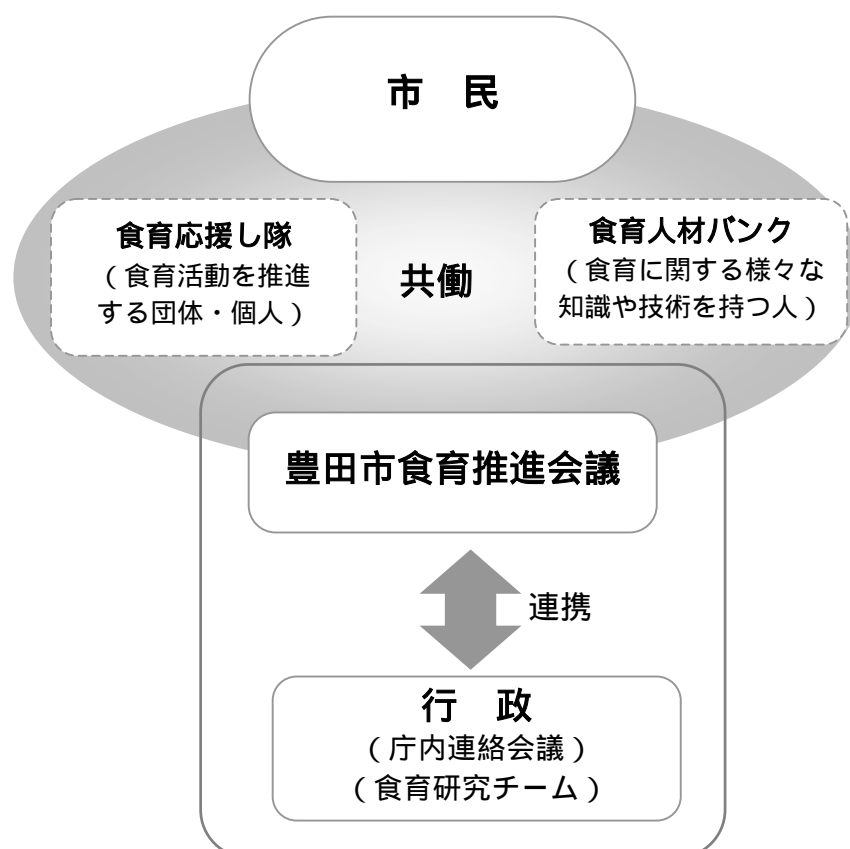
3 推進体制

(1) 豊田市食育推進会議を中心とする推進体制

「豊田市食育推進会議」は豊田市食育推進会議条例により設置され、効果的な食育推進施策や食育推進活動を立案、実施する役割などを担っています。また、「豊田市食育推進計画」に基づく取組の実施状況の把握と評価を行い、計画の見直し等を行います。

「行政」においては、食育の関係 15 課による「食育推進庁内連絡会議」及び子どもの食育を検討する「食育研究チーム」を引き続き設置し、目標の管理、食育関連事業の情報、意見交換を図り、事業の連携を深め、計画の総合的な推進を図ります。

豊田市の食育は、下の図に示すように、「豊田市食育推進会議」、「行政」及び「食育応援し隊(団体・個人)」、「食育人材バンク」が協力・連携し、市民との共働による推進をめざしていきます。



(2) 食育応援し隊の活動

全市的な食育活動の活性化を図るため、食育活動を実践する団体や個人を「食育応援し隊」として登録します。

「食育応援し隊」は食育活動の“主体的な活動の意思表示”を「見える化」したものです。それぞれが主体的にすすめている活動をネットワークの強化により情報・実践事例を共有し、さらなる食育活動の充実・拡大を図ることを目的としています。

「食育応援し隊」に登録した団体はその活動を食育ホームページで紹介し活動の活性化を図っており、今後も活動を通じて食育を推進します。

(3) 食育人材バンクの活用

食育に関する様々な知識や技術を持つ人たちを「食育人材バンク」として登録し、食育活動をしようとする組織やグループに紹介するなど食育活動の普及啓発や支援に協力していただくシステムです。

「食育人材バンク」は、栄養の専門家である栄養士や、農業への理解促進について伝えられる農作物生産者、伝統料理や行事食など豊かな食文化の伝承ができるボランティアなど食に関する様々な専門家・技術者です。

学校や園、地域、グループなどに対し食育活動の支援等の協力をします。

食育人材バンク (活動分野)

栄養と料理

生活習慣病予防、栄養管理、バランス食等調理実習、食材の選び方

食品の安全・安心

食品表示、食品衛生、食中毒

生産・加工

地産地食、農林水産業の話、農林漁業体験学習、食品加工体験

地域食文化

食事マナー、地域食文化紹介、伝統料理紹介や調理実習

子どもの食育

読み聞かせ、紙芝居、演劇、エプロンシアター、歌、踊り

その他

食育の話、食事バランスガイドの話、食生活指針の話、食育講演会企画